

H3C WA6320アクセスポイント 設置ガイド

New H3Cテクノロジーズ

<http://www.h3c.com>

ドキュメントバージョン:6W101-20200703

Copyright © 2021, New H3C Technologies Co., Ltd. およびそのライセンス供給会社が著作権所有。

すべての権利を留保

New H3C Technologies Co., Ltdの書面による事前の同意なしに、このマニュアルのいかなる部分も、いかなる形式または手段によっても複製または配布することはできません。

商標

New H3C Technologies Co., Ltdの商標を除き、本書に記載されている商標は、それぞれの所有者に帰属します。

通知

このドキュメントの情報は、予告なしに変更されることがあります。記述、情報、および推奨事項を含む、このドキュメントのすべての内容は正確であることに万全を期していますが、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証をおこなうものではありません。H3Cは、ここに含まれる技術的または編集上の誤りまたは脱落について責任を負わないものとします。

環境保護

この製品は、環境保護要件に準拠するように設計されています。この製品の保管、使用、および廃棄は、適用される国内法および規制を満たしている必要があります。

はじめに

この設置ガイドでは、H3C WA6320アクセスポイントの設置手順について説明します。ここでは、このマニュアルに関する次のトピックについて説明します。

- 対象ユーザー
- 表記規則
- マニュアルに関するフィードバック

対象ユーザー

このマニュアルは、次の読者を対象としています。

- ネットワークプランナー。
- フィールドテクニカルサポートおよびサービスエンジニア
- WA6320アクセスポイントを使用するネットワーク管理者。

表記規則

ここでは、このマニュアルで使用されている表記法について説明します。


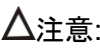
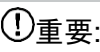
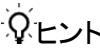
コマンドの表記法

規約	説明
ボールド体	太字のテキストは、表示されているとおりに入力したコマンドおよびキーワードを表します。
<i>イタリック</i>	斜体テキストは、実際の値に置き換える引数を表します。
[]	角カッコは、オプションの構文選択(キーワードまたは引数)を囲みます。
{x y ...}	中カッコは、必要な構文選択のセットを縦棒で区切って囲み、その中から1つを選択します。
[x y. ...]	角カッコは、オプションの構文選択のセットを縦棒で区切って囲みます。この中から1つを選択するか、何も選択しません。
{x y ...}*	中カッコで囲まれたアスタリスクは、必要な構文選択のセットを縦棒で区切って囲みます。この中から少なくとも1つを選択します。
[x y. ...]*	アスタリスクでマークされた角カッコは、オプションの構文選択を縦棒で区切って囲みます。この中から、1つの選択、複数の選択、またはなしを選択できます。
&<1-n>	アンパサンド(&)記号の前の引数またはキーワードと引数の組み合わせは、1回からn回まで入力できます。
#	シャープ(#)記号で始まる行はコメントです。













GUIの表記法

規約	説明
ボールド体	ウィンドウ名、ボタン名、フィールド名およびメニュー・アイテムは、太字で表示されます。たとえば、New user ウィンドウが開き、OKをクリックします。
>	複数レベルのメニューは、山括弧で区切られています。たとえば、File>Create>Folder

記号

規約	説明
 警告!	重要な情報に注意を喚起する警告であり、理解または従わないと、人身事故につながる可能性があります。
 注意:	重要な情報に注意を喚起するアラート。この情報を理解しない、またはこの情報に従わないと、データの損失、データの破損、ハードウェアまたはソフトウェアの損傷につながる可能性があります。
 重要:	重要な情報への注意を喚起する警告。
注:	追加情報または補足情報を含むアラート。
 ヒント:	有用な情報を提供するアラート。

ネットワークポロジのアイコン

規約	説明
	ルーター、スイッチ、ファイアウォールなどの汎用ネットワークデバイスを表します。
	ルーターやレイヤ3スイッチなどのルーティング可能なデバイスを表します。
	レイヤ2またはレイヤ3スイッチなどの汎用スイッチ、またはレイヤ2転送およびその他のレイヤ2機能をサポートするルーターを表します。
	アクセスコントローラ、統合有線WLANモジュール、または統合有線WLANスイッチ上のアクセスコントローラエンジンを表します。
	アクセスポイントを表します。
	ワイヤレスターミネータユニットを表します。
	ワイヤレスターミネータを表します。
	メッシュアクセスポイントを表します。
	全方向信号を表します。
	方向信号を表します。
	ファイアウォール、UTM、マルチサービスセキュリティゲートウェイ、ロードバランシングデバイスなどのセキュリティ製品を表します。
	ファイアウォール、ロードバランシング、NetStream、SSL VPN、IPS、またはACGモジュールなどのセキュリティモジュールを表します。

本書で提供されている例

このドキュメントの例では、使用しているデバイスとハードウェアモデル、構成、またはソフトウェアバージョンが異なるデバイスを使用している場合があります。ポート番号、サンプル出力、スクリーンショット、および例のその他の情報が、使用しているデバイスのもものと異なるのは正常です。

マニュアルに関するフィードバック

製品ドキュメントに関するご意見は、info@h3c.comまでEメールでお送りください。

ご意見に感謝いたします。

内容

1 設置の準備	1
安全に関する推奨事項.....	1
サイトの準備.....	1
取り付けアクセサリ.....	1
設置ツール.....	2
2 APの取り付け	3
設置フローチャート.....	3
設置前の作業.....	3
設置位置の決定.....	4
APのマウント.....	4
取り付けブラケット.....	4
壁面へのAPの取り付け.....	5
天井へのAPの取り付け.....	7
APの電源への接続.....	9
PoE電源の接続.....	9
ローカル電源の接続.....	9
電源投入後に確認する.....	10
APのネットワークへの接続.....	10
3 付録A 技術仕様	11
4 付録B ポートとLED	12
ポート.....	12
LED.....	13

1 設置の準備

安全に関する推奨事項

⚠警告!

APとそのアクセサリの取り付けおよび取り外しは、専門の技術者のみが行うことができます。APを取り扱う前に、すべての安全上の注意事項をよくお読みください。

人体への怪我や装置の損傷を防止するために、APを設置する前に、次の安全に関する推奨事項をお読みください。この推奨事項は、起こり得るすべての危険な状態を網羅しているわけではありません。

- 人体および装置の損傷を防止するために、適切な安全対策を講じてください。
- APを乾燥した平らな場所に置き、滑り止めを施します。
- APをほこりのない清潔な状態に保ちます。
- APを湿気の多い場所に置かず、液体の侵入を避けてください。
- APと設置ツールを通路から離してください。

サイトの準備

APを設置する前に、設置場所を調査し、APが良好な環境で動作することを確認してください。設置場所の温度と湿度は、表1-1の条件を満たしていることを確認してください。

表1-1 温度および湿度要件

項目	仕様
動作時温度	-10~55°C(32~113°F)
筐体温度	-40~+70°C(-40~+158°F)
動作時湿度	5%RH~95%RH、結露しないこと

取り付けアクセサリ

図1-1 APに付属のアクセサリ



設置ツール

APを設置するときに、次のツールが必要になる場合があります。必要に応じて、設置ツールを自ら準備します。

図1-2 設置ツール



PH(2#) T10

トルクドライバー



ラジオペンチ



ワイヤーストリッパー



マーカ



ニッパー



ラバーハンマー



ハンマードリル

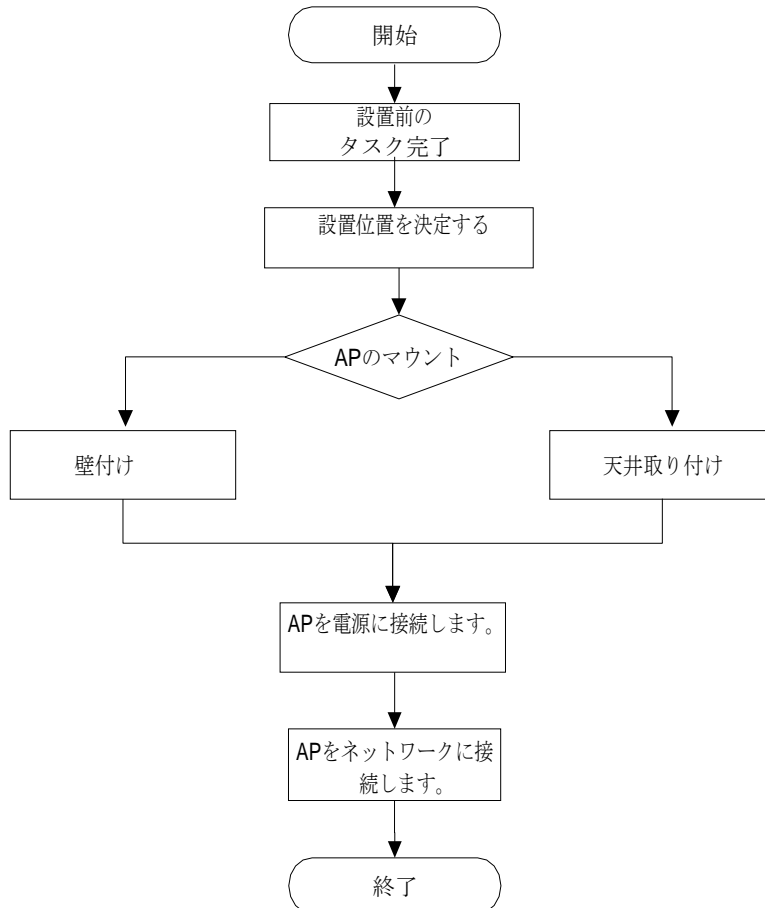


ドリル

2 APの取り付け

設置フローチャート

図2-1 設置フローチャート



設置前の作業

APを設置する前に、次の作業を実行します。

- APを電源およびネットワークに接続します。LEDを調べて、APが正しく動作していることを確認します。APのLEDについては、「LED」を参照してください。
- 後で参照できるように、APの背面にあるMACアドレスとシリアル番号を記録します。
- 設置場所でケーブル接続が完了していることを確認します。

設置位置の決定

以下の原則に従って取り付け位置を決定する:

- APとクライアントの間には、壁などの障害物が存在しないこと。
- APは、無線周波数(RF)ノイズを生成する可能性のある電子デバイス(電子レンジなど)から遠く離れていること。
- APは、人々の日常の仕事や生活を妨げないこと。
- 水がしみたり、浸かったり、結露したりする場所でないこと。

APのマウント

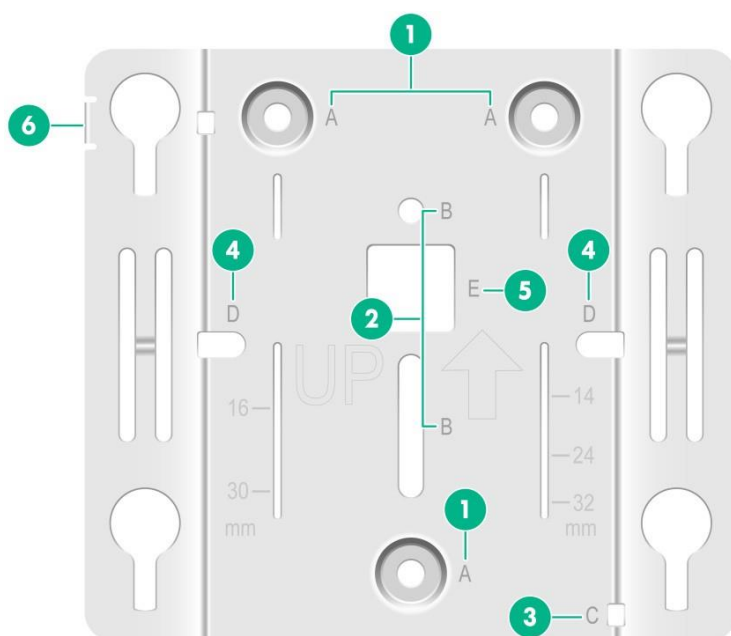
❗重要:

- APを壁または天井に取り付ける前に、ケーブルをAPに接続します。
- 必要に応じて、M3×23.5固定ネジを取り付けます。

APは屋内にしか設置できません。壁や天井に取り付けることができます。

取り付けブラケット

図2-2 取り付けブラケット



(1) 取り付けブラケットを壁または天井に固定するための取り付け穴(A)

(2) Tレール取り付け穴(予備)(B)

(3) ケーブルタイを使用してケーブルを固定するための補助穴(C)

(4) 電気アウトレットボックス取り付け用の取り付け穴(D)

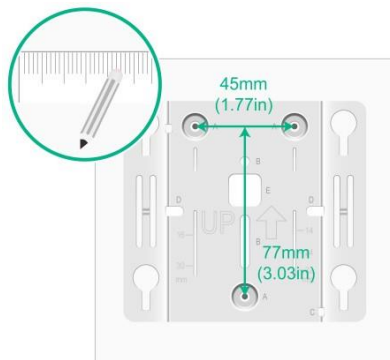
(5) APに接続するケーブルをねじ込むための補助穴(E)

(6) M3×23.5セキュリティネジ用セキュリティ穴

壁面へのAPの取り付け

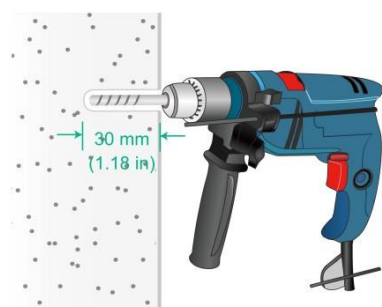
1. 取り付けブラケットを壁に当て、壁の取り付け穴にマークを付けます。

図2-3 壁の取り付け穴のマーキング



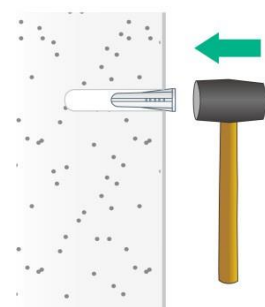
2. 図2-4に示すように、マークされた位置に直径6 mm(0.24 in)、深さ30 mm(1.18 in)の穴を3つ開けます。

図2-4 壁に穴を開ける



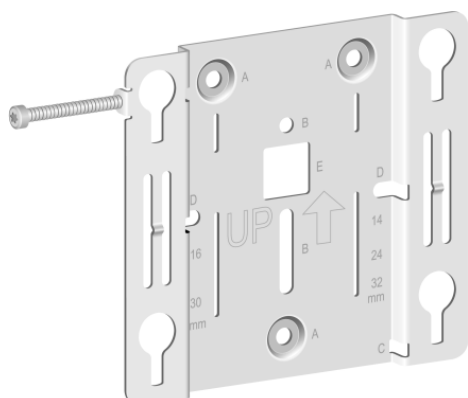
3. 図2-5に示すように、それぞれの穴にネジアンカーを挿入し、ゴムハンマーで壁面と同じ高さになるまで打ちます。

図2-5 ネジアンカーを壁に打ち込む



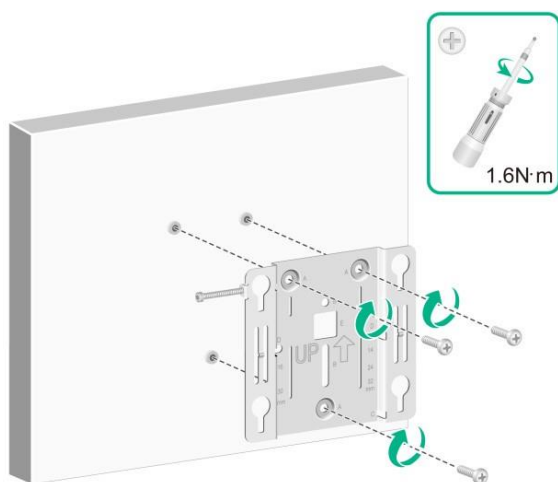
4. 固定ネジM3×23.5を、固定金具の固定穴に通します。固定ネジは、固定金具の固定穴をふさがないようにしてください。

図2-6 セキュリティネジの挿入



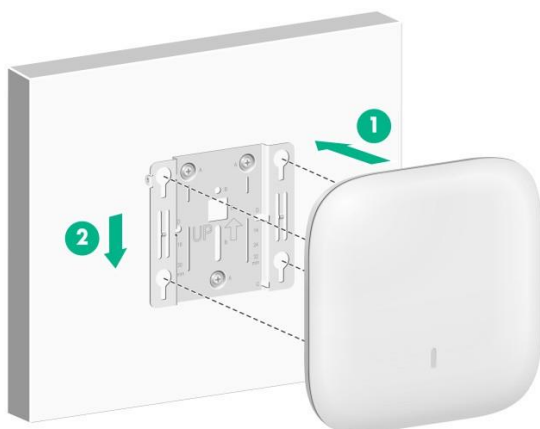
5. 図2-7に示すように、ネジを取り付けブラケットの取り付け穴から壁の穴に差し込み、ネジを締めて取り付けブラケットを壁に固定します。

図2-7 取り付けブラケットの壁面への取り付け



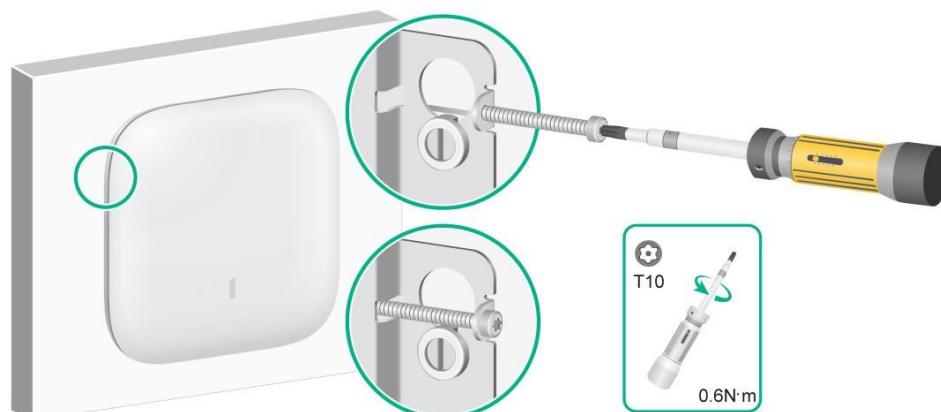
6. 図2-8に示すように、AP背面の4つのペグを取り付けブラケットの鍵穴スロットに挿入し、カチッと音がするまでAPを下にスライドさせます。

図2-8 APの取り付けブラケットへの取り付け



7. セキュリティトルクスドライバーを使用して、M3×23.5セキュリティネジを締めます。

図2-9 M3×23.5固定ネジの締め付け



天井へのAPの取り付け

△注意:

APを取り付けるための天井の厚さは18 mm(0.71インチ)未満で、5 kg(11.02ポンド)の荷重に耐えられる必要があります。十分な強度がない天井にAPを取り付ける必要がある場合は、ボードを使用して天井を補強します。

M3×23.5のセキュリティネジの取り付け方法は、APを壁に取り付ける場合と天井に取り付ける場合でほぼ同じです。

APを天井に取り付けるには、次の手順に従います。

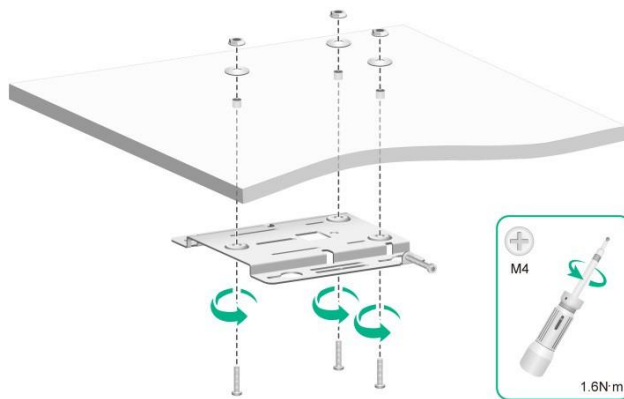
1. 天井タイルを取り外します。
2. 取り付けブラケットを天井タイルに当て、天井タイルの取り付け穴にマークを付けます。図2-10に示すように、マークされた位置に直径6 mm(0.24インチ)の穴を3つ開けます。

図2-10 天井タイルに穴を開ける



3. 図2-11に示すように、なべネジを取り付けブラケットの取り付け穴から天井タイルの穴に通し、天井の反対側でワッシャーとナットを締めて、取り付けブラケットを天井に固定します。

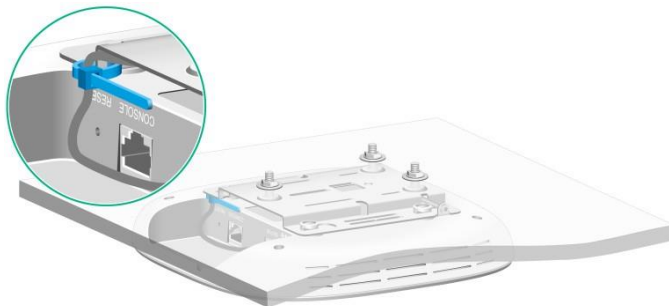
図2-11 取り付けブラケットの天井への取り付け



4. 次の手順で、ケーブルをAPIに接続します。
 - a. ケーブルタイを使用しない場合は、ケーブルをAPIに直接接続します。
 - b. ケーブルタイを使用するには、ケーブルタイを取り付けブラケットの補助穴に通します。ケーブルタイは締め付けしないでください。次に、ケーブルをAPIに接続し、ケーブルの長さを調整してから、ケーブルタイを締めてケーブルをAPIに固定します。

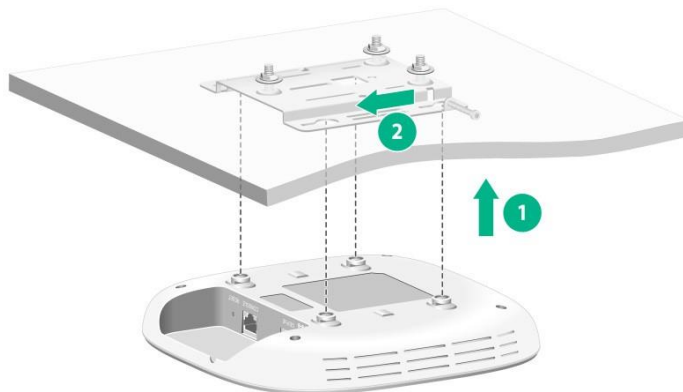
APIにはケーブルタイは付属していません。必要に応じて自分で用意してください。

図2-12 ケーブルの固定



5. 図2-13に示すように、AP背面の4つのペグを取り付けブラケットの鍵穴スロットに差し込み、カチッと音がするまでAPをスライドさせます。

図2-13 APの取り付けブラケットへの取り付け



6. APが落下しないようにしっかりと取り付けられていることを確認します。

APの電源への接続

必要に応じて、ローカル電源または802.3af PoEを使用してAPに電力を供給できます。APに電力を供給する前に、ローカル電源または電力供給装置(PSE)が確実にアースされていることを確認してください。

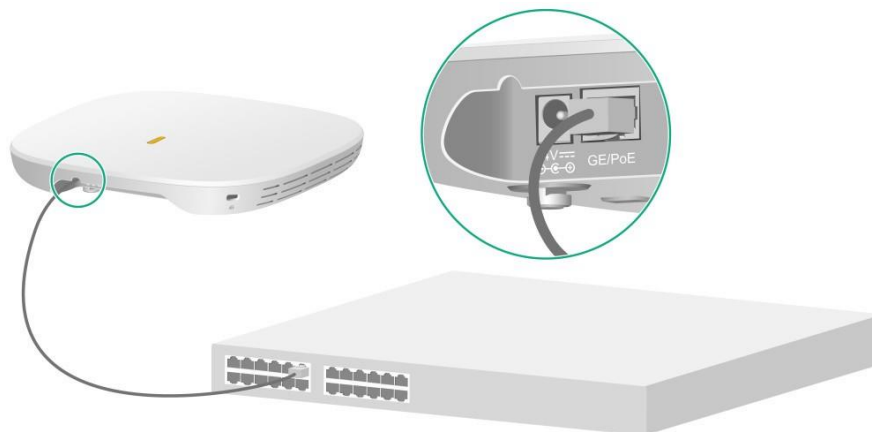
PoE電源の接続

△注意:

APは、外部プラントにルーティングせずに、PoEネットワークだけに接続されます。

PoEを介してAPに電力を供給するには、イーサネットケーブルを使用して、PoEスイッチのイーサネットポートをAPのGE/PoEポートに接続します。

図2-14 PoEによるAPへの電力供給



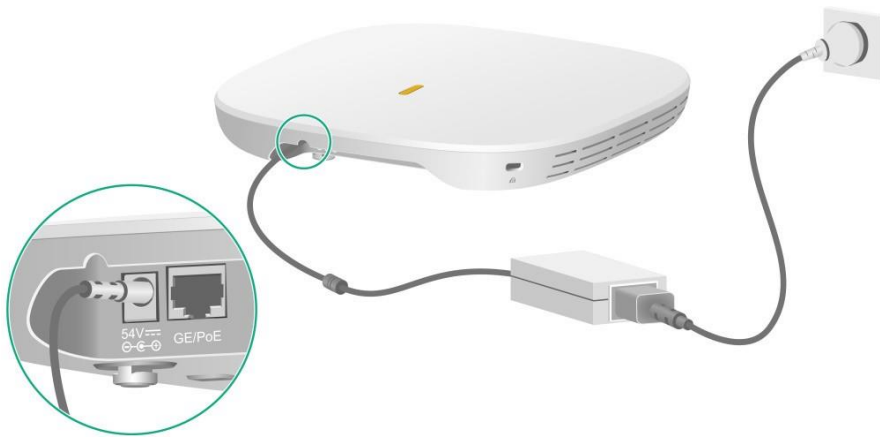
ローカル電源の接続

AC/DC電源アダプタを使用して、APをローカル電源に接続できます。APには電源アダプタは付属していません。必要に応じて自分で用意してください。表2-1に電源アダプタの仕様を示します。

表2-1 電源アダプタの仕様

項目	仕様
入力	100 VAC~240 VAC
出力	+48 VDCから+55 VDC 
消費電力	13 W以上

図2-15 電源アダプタを使用したAPのローカル電源への接続



電源投入後に確認する

APの電源を入れた後でAPのLEDを調べて、APが正常に動作していることを確認します。LEDの詳細については、「LED」を参照してください。

APのネットワークへの接続

すべてのAP設定はACで設定されます。APのネットワーク接続を確認するには、ACでdisplay wlan ap allコマンドを実行します。APのステータスがR/Mの場合、APはネットワークに接続されています。

```
<Sysname> display wlan ap all
```

```
Total number of APs: 1
```

```
Total number of connected APs: 1
```

```
Total number of connected manual APs: 1
```

```
Total number of connected auto APs: 0
```

```
Total number of connected common APs: 1
```

```
Total number of connected WTUs: 0
```

```
Total number of inside APs: 0
```

```
Maximum supported APs: 3072
```

```
Remaining APs: 3071
```

```
Total AP licenses: 128
```

```
Remaining AP licenses: 127
```

```
AP information
```

```
State : I = Idle,      J = Join,           JA = JoinAck,  IL = ImageLoad  
        C = Config,   DC = DataCheck,    R = Run        M = Master,   B = Backup  
AP name  APID  State  Model          Serial ID
```

```
ap1      1      R/M    WA6320         219801A28N819CE0002T
```


3 付録A 技術仕様

表3-1 技術仕様

項目	仕様
寸法(WxDxH)	185×185×33 mm(7.28×7.28×1.30インチ)
重量	423 g(14.92オンス)
アンテナ	アンテナ内蔵
消費電力	12.42 W以下
プロトコル	<ul style="list-style-type: none">• 802.11b/g/a/n/ac/ax• 802.3af• デュアル周波数

4 付録B ポートとLED

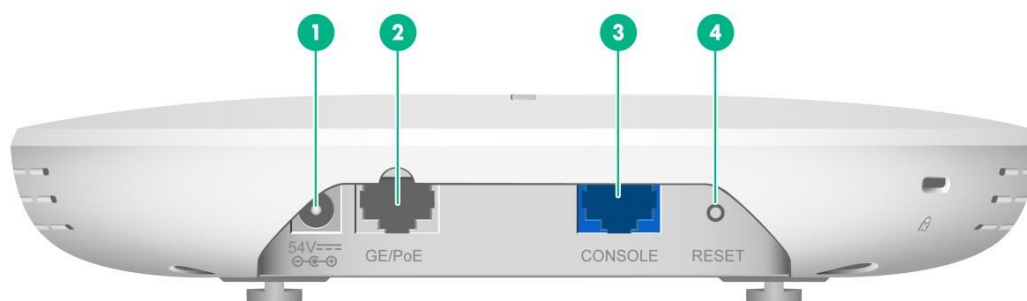
ポート

APには、次のポートがあります。

- 1つのコンソールポート
- GE/PoEポートx1
- 電源ポートx1

リセットボタンとセキュリティネジ穴も備えています。

図4-1 APのポート



(1)電源ポート

(2)10/100/1000Mイーサネット銅線ポート

(3)コンソールポート


(4)リセットボタン

表4-1 ポートの説明

ポート	標準とプロトコル	説明
コンソールポート	RS/EIA-232	技術者がデバイスの設定と管理にのみ使用します。
10/100/1000Mイーサネット銅線ポート(GE/PoE)	<ul style="list-style-type: none">• IEEE802.3• IEEE802.3i• IEEE802.3u• IEEE802.3ab• IEEE802.3af	インターネットまたはMANアクセス用のアップリンクデバイスにAPを接続するために使用します。また、アップリンクデバイスからPoE電力を受信することもできます。 MAPファイルではインターフェイス番号GE1/0/1で表され、ACでの設定ではGigabit Ethernet 1で表されます。
電源ポート(54 V)	該当なし	ローカル電源から+54 VDC電力を受信する場合に使用します。
リセットボタン	該当なし	<ul style="list-style-type: none">• APをリセットするには、ボタンを5秒以下押しただままにします。• 工場出荷時のデフォルトに戻すには、ボタンを5秒以上押しただままにします。

LED

表4-2 LEDの説明

LED	ステータス	説明	
	消灯	電源が供給されていないか、CLIからLEDが消灯している。	
	黄	常時オン	APが初期化中であるか、初期化例外が発生しました。
		1 Hzで点滅	無線カードが検出されませんでした。
		2 Hzで点滅	イーサネットインターフェイスはダウンしており、メッシュリンクは確立されていません。
	緑	常時オン	APはACに登録されていますが、関連付けられたクライアントがありません。
		0.5 Hzで点滅	APは起動していますが、どのACにも登録されていません。
		1 Hzで点滅	クライアントが関連付けられているのは2.4G無線だけです。
		2 Hzで点滅	APがイメージをアップグレードしています。
	青	1 Hzで点滅	クライアントが関連付けられているのは5G無線だけです。
		1 Hzで緑と青を交互に繰り返す	2.4G無線と5G無線の両方にクライアントが関連付けられています。